



県内すべての働く者の先頭に立ち 2019春季生活闘争を展開しよう! — 亥年に突破する「2019春季生活闘争開始宣言集会」でスタートを切る! —



春闘勝利めざしてガンバろう!



本川会長 講師/内田副事務局長 講師/内藤局長

連合鳥取は2月2日(土)、まなびタウンとうはく(琴浦町)に構成産別各単組から組合員・役員210人(うち女性43人・女性参加率20%)が結集し、「2019春季生活闘争開始宣言集会」を開催しました。

本川博孝会長の主催者あいさつに続き、連合本部の内田厚副事務局長による「連合2019春季生活闘争の取り組みについて」と、連合政治センターの内藤靖博局長による「私たちの暮らしと政治(2019年版)」について講演を受けました。

その後、田中穂事務局長が「連合鳥取2019春季生活闘争方針」の提起と決意を述べ、参加者全員が確認しました。最後に、闘争開始宣言を承認して、鳥取県内春闘のスタートを切りました。

■本川会長あいさつ

(抜粋)
春闘で連合が主体と

— 連合鳥取2019春闘方針より抜粋 —

■重点取り組み課題

全構成組織が必ず「要求書」を提出することにより、県内すべての労働者231,000人のうち連合鳥取加入組合員26,649人が地域労働者の先頭に立ち、雇用と生活を守る運動を展開する。

■具体的取り組み事項

- ①非正規労働者を含めた全労働者の処遇改善
- ②企業内最低賃金の協定化(水準引き上げ)
- ③総労働時間の短縮と時間外割増率の引き上げ
- ④希望者全員の65歳までの雇用確保
- ⑤賃上げ要求目安 9,600円以上
(内訳) 4,600円以上(ベア2%以上)
+4,000円(賃金カーブ維持相当分)
+1,000円(格差是正)

参加者の声



私鉄総連・
日ノ丸自動車支部

中村和博さん

本集会に参加し、すべての労働者の立場に立った働き方など、理解が深まった。労働者の不断の努力が認められ、その価値に見合った処遇が担保される社会、賃上げ、賃金の上げ幅、賃金水準を追求し、波及させる重要な取り組みとして、一致団結し最後まで粘り強く闘い抜いていく。

日教組・
鳥取県教職員組合

森田愛子さん

この度、「春闘開始宣言集会」に参加し、鳥取県の経済状況や春闘方針等を学ぶことができ、労組でとりくみを伝える重要性を改めて感じた。また、自分自身も無関心にならず、私にできることは何かを見つけ、とりくみにつなげたい。

「連合2019春季生活闘争取り組み方針」より抜粋
①世界・日本の経済情勢
(日本の状況、企業・雇用の状況等)

また、4月には統一自治体選挙、7月は参議院選挙が行われる年である。安倍一強政治により民主主義が揺らぐにさらされてきた政治を国民に取り戻すチャンスでもあり重要である。

「経済の自律的成長」や『ディーセント・ワークの実現』の役割を果たすことが重要である。4月より始まる働き方改革関連法の施行で『時間外労働の上限規制』等よい働き方もはじまる。

②賃金の動向、2018春闘の結果及び賃金格差、取引の適正化
③ワークルールの取り組み
・働き方改革関連法
・改正法(労働基準法・労働安全法の罰則規定等)
講演「私たちの暮らしと政治」より抜粋

私たちが日常生活を過ごす上で、すべてが国会の場で決められたものであり、政治に無関心でも無関係ではいられない。憲法では国民が主権である。あわせて、現政権は数の力により傲慢な国会運営を行っており、民主主義を取り戻すことが重要で、野党は与党が利することがないよう『ダブル選挙』も見据え対抗軸をつくる必要がある。

2019春季生活闘争特集

「経営者団体との意見交換会」を開催

2月6日(水)、対翠閣(鳥取市)において、連合鳥取と県内の経営者団体による意見交換会を開催しました。連合鳥取は「ベースアップも含めた賃金の引き上げ」とともに、取引条件の厳格化(取引の適正化)を求めたのに対し、経営者側からは「ベースアップの要求には慎重にならざるを得ない」との意見が出されるなど、活発な意見交換が行われました。



意見交換の様子(左側が連合鳥取)

<経営者団体より出された質問・意見>

- ・連合の個別賃金実態調査で60歳以上の数が少ないのはなぜ?
⇒<連合鳥取回答>再雇用者の組合員化が遅れているため。
- ・中小零細企業は消費税増税もあり(賃上げは)難しい。
- ・人手不足で、人材確保のためにも「ベア」は必要であり賛成。
- ・鳥取県内の生産性は低い。賃上げには生産性の向上が必須。
- ・生産性の向上には、省力化、従業員の働き方、AIの導入等が必要。
- ・県内は人手不足。求人募集しても来ない。
⇒<連合鳥取回答>今は売り手市場であり、働き方(賃金・職場環境など)、労働条件の向上が必要である。

県内3カ所で「春闘方針」の基礎から学び浸透を図る

— 東・中・西部地協「単組代表者会議」を開催 —

2019春季生活闘争方針について理解を深め、各労働組合での闘いを強めていくため、各地域協議会は各産別・単組の組合役員、組合員と連合鳥取推薦議員に参加を呼びかけて「単組代表者会議」を開催しました。

■ 東部地協 ■

<2月13日(水) /白兎会館>



春闘方針を解説/吉田連合鳥取副事務局長



参加者全員で団結ガンバろう!

■ 中部地協 ■

<2月15日(金) /倉吉体育文化会館>



中部地協の活動説明/山田事務局長



団結ガンバろう!/笠見議長

■ 西部地協 ■

<2月14日(木) /米子コンベンションセンター>



春闘方針の説明/吉田連合鳥取副事務局長



西部地協の取り組み説明/佐貫事務局長

連合 全国一斉労働相談ホットライン

— 全国で約840件の相談 —

4月からの「労働基準法」改正に関する問題や不安が生じることが懸念されていることを踏まえ、すべての労働者の問題に焦点をあてた「労働相談ダイヤル」を、全国の連合で一斉に実施しました。

この相談キャンペーンに向け、各地協の役員による街宣行動や、新聞ならびに市報での広告掲載などを実施し、PR活動を展開しました。

<事前PR活動の報告/中部地協より>

2月5日(火)夕方より倉吉市内2カ所と琴浦町内1カ所のスーパーマーケットでチラシ入りのティッシュを配布しました。

今回の相談テーマである「長時間労働を是正」に向けて「働き過ぎにレッドカード!4月から残業時間に上限規制が導入されます」を地域のみなさんに訴えました。



中部地協による街宣の様子

「ご存知ですか?」 「連合鳥取第3次男女平等推進計画」^⑳

—2019春季生活闘争 男女平等ACTIONより—



〈連合のキャラクター〉ユニオニオン

お久しぶりの「ご存知ですか?」コーナーだよ。「男女がともに働きやすい環境」を実現するためには、職場点検活動が大切。2019春闘の機会にしっかりチェックしよう!

「女性活躍推進法」などの定着に向けて確認してみよう!

○必ず把握

- ①女性の採用比率
- ②勤続年数の男女差
- ③月ごとの労働者の長時間労働の状況
- ④管理職に占める女性比率

○職場にあわせて選んで

- ①男女の賃金の差異
- ②男女別の育児休業取得率および平均取得期間
- ③年次有給休暇の取得率など、全21項

⇒確認した情報を公表しよう!

⇒会社で働いている人も、これから入社してくる人も安心&HAPPY!

■特集■ 知っていますか「36(サブロク)協定」
長時間労働や過労死を招くような働き方はもうやめよう!
—職場の働き方を変えていこう—



「働き方改革関連法」によって、4月から
 時間外労働の上限規制がスタートします。
 そのカギが「36協定」の適正な締結

—そんな思いで連合は『Action!36』に取り組んでいます。

☆まずは確認!

「仕事と生活の両立」を図るためには、長時間労働の是正
 が大前提。

その第一歩が、自分の職場でどのような「36協定」が結ば
 れているかを知ること。

まずは明日、自分の職場の「36協定」を確
 認してみましょう。

☆チェックリストは

「連合鳥取ホームページ」に掲載しています



社会人になる前に伝えたい!
—米子高等学校1年生(160人)に出前授業—

1月31日(木)、連合鳥取の田中穂事務局長(写真左)と馬場一憲副事務局長(写真右)が米子高等
 学校に出向き、「産業社会と人間」をテーマに「働くときのルールとマナー」や「労働組合の必要
 性」について講演を行いました。

- ◇1時限目・労働法クイズなど
- ◇2時限目・実際の労働相談から



真剣に授業を受ける学生のみなさん

■特集■ ご存知ですか?
3.8国際女性デー



女性委員会では毎年、3月8日の「国際女性デー」をPRす
 る取り組みを実施しており、本年も下記の行動を展開します。

○街宣行動

・3月1日に実施される「2019春季生活闘争勝利総決起集会」
 会場で実施。

○講演会&意見交換会

□日時
 2019年3月10日(日)
 9時45分開会

□場所
 まなびタウンとうはく

□講演
 「働き方改革関連法の
 施行に伴う女性(労働者)
 への影響について」

講師
 連合本部男女平等局長
 畠山 薫さん



国際女性デーとは?

1857年にニューヨークで起きた工場火災で多
 くの女性たちが亡くなったことを受け、3月8日に
 低賃金・長時間労働に抗議する集会が開かれたこ
 とが起源です。

その後、国連において、3月8日が「女性の権利と
 平等のために闘う記念日」と位置づけられ、賃金・労
 働条件の向上を表す「パン」(Bread)と女性の尊厳・人権
 の確保を表す「バラ」(Rose)をシンボルに、今も世界各
 国で様々な行動が展開されています。

連合も一緒に行動します。

Information ※詳しくは、連合鳥取事務局へ
 お問い合わせください。
#90鳥取県メーデー大会開催日決定!!

- 開催日 2019年4月27日(土)
- 場所 3会場(東部・中部・西部)
 ※中央大会/倉吉市(中部地協担当)
 ※現在、各地域協議会で企画中。

◆今年も「メーデー川柳」を募集◆
 ~多数のご応募お待ちしております~

＜メーデー大会スローガン＞
格差をなくし、平和を守る!
笑顔あふれる未来をつくろう
すべての仲間の連帯で!

- 申込資格 連合鳥取組合員(退職者含む)
- 応募締切 4月1日(月) 連合鳥取事務局必着
- 表彰・賞金 最優秀賞 1点(2万円)
 優秀賞 3点(1万円)
 佳作 6点(5千円)
- その他 入選作品はメーデー大会
 レジメで紹介

※入選者の最寄りのメーデー会場
 で表彰

※産別を通じて
 募集中です。



産別リレー

JP労組は「友愛・創造・貢献」をシンボルフレーズとして活動しています

(友愛の精神をもって、希望に満ちあふれた事業と労働運動を創造し、組合員の生活の向上と公正な社会づくりに貢献する)

JP労組
 におじゃまします

J P 労組の組合員は
約243,000人



非正規雇用社員の処遇改善は日本社会の重要課題です

非正規雇用社員の処遇改善に取り組んでいます

J P 労組は正規と非正規の格差を正に向けたこれ
 までの交渉により郵政最賃制度などを実現し、18
 春闘では一時金の改善や同一労働同一賃金などに
 向けた交渉により、非正規雇用社員等の処遇改善
 を実現しました。引き続き処遇改善に取り組んで
 います。

最低賃金に+20円!
郵政最賃制度の創設をJP労組が実現

基本給は、都道府県ごとに決定される最低賃金(地域最賃)を下
 回らないよう法律で定められています。さらにJP労組は会社との
 交渉により、地域最賃にプラス20円した「郵政最賃」の制度を実
 現しました。



男女共同参画の推進に取り組んでいます

J P 労組は男女共同参画社会の実現に向け
 て、労働組合の視点から職場環境や組織風土
 の問題点を洗い出して、男女が互いを尊重し
 ながら、役割と責任を分かち合い、安心して働
 き、仕事と暮らしの調和をはかることができ
 るよう取り組んでいます。具体的には、女性が
 能動的に参加できる機会をつくり、その声を
 積極的に反映できる場や、各種のセミナーを
 通じて男性の意識改革を進めています。

また、J P 労組中国地方
 では全ての支部に男女共
 同参画推進担当者や配置
 して男女共同参画推進計
 画の推進や人材の発掘・
 育成および政策提言行動
 に取り組んでいます。



今回は…紙パ連合をご紹介



湯原俊二

— 緑肥の想い —

私たちの思いを 鳥取県政に届けよう!



第2次安倍政権の6年間で東京への人口流入、東京一極集中は加速しました。また、20代30代の若者の雇用環境の不安定化により、家庭を持ちたくても持てない、子どもを産み育てたくてもできない、その結果少子化に拍車がかかっています。そうしたこともあり鳥取県の人口は、昭和21年以来73年ぶりの55万人台になりました。

また、安倍政権の悪政で様々な悪法が成立し、鳥取県への影響も懸念されます。一例を挙げますと、働き方関連法、種子法、水道法、外国人労働者受け入れの出入国管理法、漁業法等々です。農政面でも、コメの減反見直しやTPPなど農家は大変な打撃を受け、中山間地域は大変厳しい状況です。

鳥取県政を最終決定する機関は、県議会です。その県議会に誰を送り込むかで、これからの鳥取県政、ひいては県民の暮らしは大きく変わっていきます。

我々の思いを共有する連合鳥取推薦候補の議席獲得に、ぜひ主体的に参画をしていただきますようお願い申し上げます。



西部地協「政策懇談会」で訴える湯原さん

“ザ・議員”

棕田 昇一 鳥取市議会議員

昨年11月の市議会議員選挙でのご支援に御礼申し上げます。

「無所属では仕事ができない」という人がいますが、地方議会ではそんなことはありません。議員の仕事を検証してみてください。

しかし議会は良くも悪くも会派、しかも一定議員数を有する交渉会派で運営されています。会派をつくるなら大きな塊が良い。そこで改選後の議会では、連合推薦ではない議員とも一緒に「会派未来ネット」(第2会派)をつくりました。

改正入管法の攻防。ガイコクジンザイ？
ガイコクジンロウドウリョク？

“この国の経済にとって役立つ人材!?”
この違和感は…

2月定例議会の一般質問はこれにしました。

ハロウィンが後援会事務所に
《子どもたちを出迎える棕田議員(奥)》



澤田 豊秋 琴浦町議会議員

連合のみなさん、こんにちは。

私は「人権を基軸に安全で安心して暮らせる地域づくり、まちづくり」を基本にし、自分にできる行動化の一つとして、退職してから毎朝通学路に立って、子どもたちに大きな声であいさつをし、見守り活動を行っています。継続は力なりといいますが、もうすぐ11年目を迎えようとしています。

「子どもは地域の宝」です。子どもは勿論、先生、保護者、地域の人たちに安心感が生まれ、子どもたちを見守る輪が広がります。

子どもの虐待やいじめの問題等は後を絶ちません。安全で安心して暮らせる地域をみんなで築き、ふるさとに誇りを持ち、夢と希望をもって大きく羽ばたいていくことを願って、今日も子どもたちを見守っていきます。

見守り活動の様子



米子から鳥取へ単身赴任している私の生活スタイルにマッチした「星空舞(ほしぞらまい)」と出会った。家には水田があり、これからは田植えへ向けた準備が始まり、稲刈りまでの休日は草刈のために帰省するようなもので、そのため日頃の水管理は奥さんへ任せている▼「星空舞(ほしぞらまい)」は米である。県農業試験場が「東北IL3号」(ササニシキBL1号)に「ゆめそらら」(鳥系IL1号)を5回戻し交配選抜した品種である▼「星飯のように輝くお米」で炊いたご飯のツヤや光沢が特に優れ、美味しさの指標である「味度値」が非常に高いのが特徴。食べたときの感触は、粒がしっかりととして、適度な粘りがあり、試食アンケートでは半数以上の方が「甘い」と回答されているという▼「ご飯が水を抱き込む量が多いため、冷めても食感が変わらず美味し」という特徴があるそうだが、高温でも品質が低下しなく、コシヒカリと比べて背丈が低く、倒れにくく栽培しやすい▼この米が今年(31年度)300ha(32年度1000ha)予定)から個人で作付けできるようにしたのである▼収穫期は「コシヒカリ」と「きぬすめ」の中間で、農作業の分散ができることも私には魅力的である。秋に奥さんと食べるのが楽しみだ。

(箕敷屋へいや)



トクワタリ